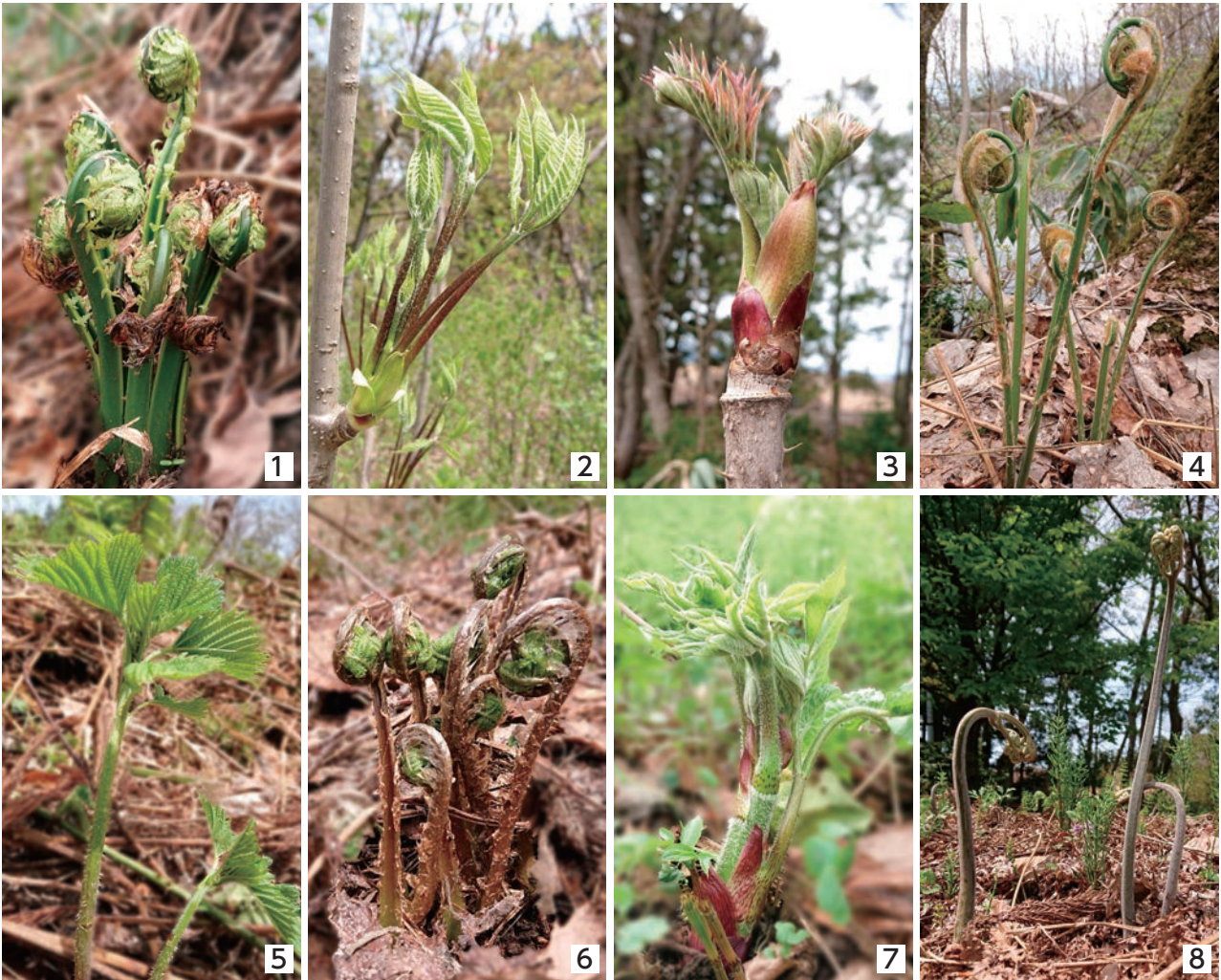


# めでいかすとる Médicastre



「里山で見かけた山菜たち」

## 第61回 鶴岡准看護学院入学式

日時：平成31年4月11日(木) 13:30～  
場所：鶴岡地区医師会館 3階講堂

平成31年4月11日、第61回鶴岡准看護学院入学式が挙行政され、20名の新生が准看護師になるための第一歩を踏み出しました。同じ目標に向かう仲間と共に、知識・技術だけではなく看護に必要な思いやりの心、感謝の気持ちを育み、充実した2年間を過ごしていきたいと思ひます。会員の先生方の温かいご指導とご協力を、今後とも宜しくお願ひ致します。

### 足達 和

合格発表に自分の受験番号があるのを見て、嬉しかったのと同時に様々不安な気持ちも生まれました。実際合格を目の前にすると、仕事や家庭と両立し、やって行けるのかと少し弱気になってしまいましたが、気持ちを切り替えて「頑張ろう!」と決意しました。家族の理解や職場の協力を得て、自分のやりたいことを学べるのはとても幸せです。これからの2年間、容易ではない日々を送ることになると思ひますが、自分の夢である准看護師になるために精一杯努力し頑張っていきたいです。

### 石川 梨里

この学校に入学できると決まってから、楽しみがいっぱいでした。入学する前から看護助手という仕事をさせてもらい、そこで初めて看護の難しさを知りました。不安もありますが、入学式を終え、先生や先輩のお話を聞いて一人ではない事に気づき、クラスメートの人たちとも皆で前向きに頑張ろうと励まし合っています。これから勉強や実習、そして仕事とハードな毎日になると思ひますが、負けず嫌いなところを活かしつつ、頑張っていきたいです!

### 工藤 綺羅華

私は1年間病院で勤務をし、間近で看護師の仕事を見てきたため看護師になりたいという夢が日々強くなっていました。看護の知識を早く身につけたいと思ひながら働いていたので、やっと看護の勉強ができると思うとこれからが楽しみです。これからの目標は、もちろん准看護師の資格に合格することですが、そのためにも毎日勉強を欠かさずやりたいと思ひます。もう一つの目標は、学校の皆さんと仲良くなることです。高校の時は同じ年齢の人しかいなかったのですが、この学校では年齢も生活も様々な方がいます。いろいろな方と関わる中で多くのことを吸収できると思うので皆と励まし合いながら同じ目標に向かって頑張っていきたいと思ひます。

### 松田 梨奈

入学式を終えて、年齢層が異なる学生生活は2度目になりますが、色々な人と関わる中でまず、人間性を学びたいと思ひます。人との接し方や関わり方は今までの社会人生活でも学んできましたが、今回出会えた「看護師」という同じ目標を持つ20人の仲間。これまでとは違う環境の中で1日でも早くクラスメートと仲良くなり、辛い時も苦しい時も助け合いながら成長していきたいと思ひます。また11月から始まる基礎看護実習に向けて、しっかり知識を得るために予習・復習を行って授業に臨みたいと思ひます。仕事、育児、勉強と忙しい生活になりますが、自分の健康管理もしっかりと行い有意義な2年間を送っていきたいです。



# 平成30年度 日本医師会医療情報システム協議会報告

三原 一郎

日時：平成31年3月2日(土)～3日(日)  
場所：文京シビックセンター

平成30年度日本医師会医療情報システム協議会が「明日の医療を彩るICT」をメインテーマに、3月2日、3日の両日、都内で開催された。今回の協議会では、オンライン診療、医療分野でのAIの活用、日本医師会のICT化の取り組みなど多彩な報告があったが、筆者は2日目に行われたセッション4「全国保健医療情報ネットワークについて」の中で、鶴岡で実証を行った総務省「医療等分野におけるネットワーク基盤活用モデルに関する調査研究」事業における中間報告をしてきたので以下にその概要を示す。

## 総務省事業の全体像

本年度の総務省事業は4つのモデルに基づき全国各地で実施されたが、鶴岡地区は八戸地域共々、医療・介護連携モデルの実証フィールドとして参画した。なお、お隣の酒田地域は調剤情報を活用した薬局連携モデルとして本事業に参画している。

## 目的

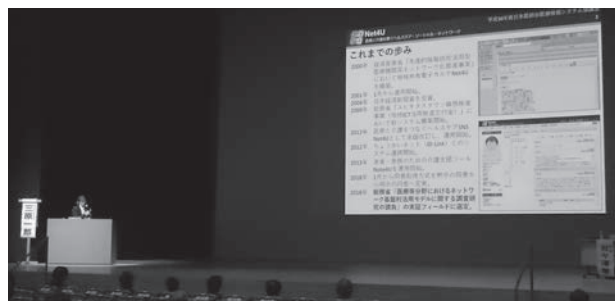
医療・介護連携モデルのおもな目的は、医療・介護連携データの標準化に関する調査および介護業務システムと医療・介護連携システムの相互接続に関する標準仕様の作成に関する調査を行い、策定した運用フローに基づき実際の現場で運用し、その効果を検証することである(図1)。



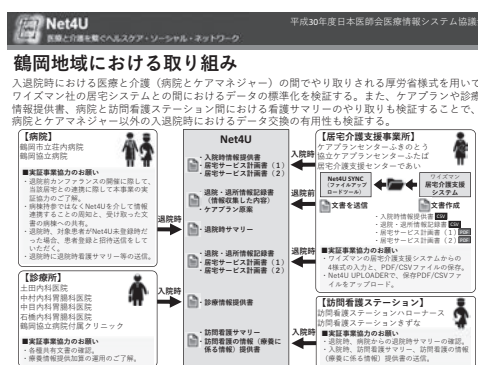
(図1)

## 方法

調査研究事業には病院2施設、居宅介護支援事業所3施設、診療所5施設、訪問看護ステーション2施設が参加し、これら施設を相互につなぐ医療・介護連携システムとしてNet4Uを利用した。事業の運用フローであるが、在宅あるいは施設に入所している患者が入院あるいは退院するポイン



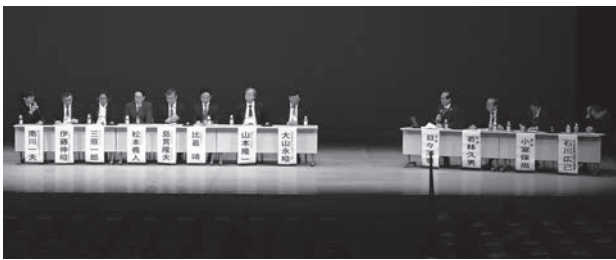
トで入院時情報提供書、退院・退所情報記録書などをNet4Uにアップロードし、関係職種間で共有することでその有用性を検証するというものである。その際、居宅介護支援事業所では業務システムで作成した文書を標準化したデータとして書き出し、それを新規に開発したアップローダーを利用しNet4Uに登録する(図2)。



(図2)

## 結果と考察

2か月の調査研究事業で延べ51例を登録した(図3)。市立荘内病院事例は入院5例、退院4例、鶴岡協立病院事例は入院22例、退院20例と協立病院の事例が圧倒的に多かった。要因として、協立病院とケアプランセンターふたばは同じ法人内の施設であり、入院退院を繰り返す医療依存度の高い患者が多いことが考えられる。登録文書数の総数は138件、居宅介護支援事業所からの登録が多く、病院からは退院時サマリーの登録が多かった(図4)。これは、今回の事業が介護事業所からの情報提供がおもなフローになっているためと思われる。また、訪問看護ステーションや診療所からの文書類の登録は事業フローによるというよりは、以前からのやり取りの継続によるものがほとんどであった。図5は登録した文書類



がどの時点で閲覧されたかを見たものであるが、90%以上が当日に閲覧されており、ICT利用が情報伝達の即時性に優れていることが示された。図6は連携数の多い事例をピックアップし、介入前と介入後のNet4Uを紹介する情報のやり取りを比較したものである。介入後は文書のみならず、所見、訪問記録、患者メモなどの記載が増加しており、介護施設からの情報発信が医療・介護連携のさらなる活性化へ寄与する可能性が示された。

### ヒアリング結果

以下は、事業中間時点でのヒアリングにおける参加各職種からのコメントである。病院に入院するとNet4Uによる連携が途絶えてしまっていたが、今回のフローにより連携が継続されることが大きかった（医師）。アップロード機能による手間の軽減と病院との情報共有のメリットを感じている（ケアマネジャー）。予定入院の場合、事前に情報が得られることは非常に有効（連携室看護師）などの肯定的な意見が多かったが、一方で、同意の取得に手間と時間を要し、業務量が増加した（連携室看護師）、主治医がNet4Uに参加していないと事務職間だけの参照で終わってしまう（医師）などの課題も聞かれた。

### 成果

- 介護業務システムとNet4U間でのデータ内容を含めた相互接続に関する標準化を行い、実際の現場で運用し利便性、有効性を確認できた。
- 登録された90%以上の文書は当日のうちに他施設から閲覧されていることが確認でき、ICTを活用することで、情報伝達の高い即時性を確認できた。
- 事業でのフローを運用することで、対象文書以外のデータにおいても情報共有量が増加することが確認できた。

### 課題と解決策

- 病院連携室と居宅介護支援事業所間のみのやりとりでは有効な情報共有につながらない。  
→在宅主治医、訪問看護師のより積極的なNet4U利用
- Net4Uの病院内での利用が進んでいないため病

院内での情報共有に課題がある。

→病院での利用環境を含めた業務改善

- 入院時での同意の取得や登録に手間と時間を要する。

→病院業務の見直しや入院前からのNet4U登録



#### 実証結果 (実証期間：2018年12月1日～2019年1月31日)

■入院件数	ふきのとう	ふたば	であい	合計
鶴岡市立荘内病院	2	2	1	5
鶴岡協立病院	2	20	0	22
合計	4	22	1	27

■退院件数	ふきのとう	ふたば	であい	合計
鶴岡市立荘内病院	4	0	0	4
鶴岡協立病院	1	19	0	20
合計	5	19	0	24

#### 入退院実証件数 51件

・入院件数、退院件数共に、鶴岡協立病院とケアプランセンターふたばとの間での同一法人間におけるやりとりが多かった。  
・荘内病院からの件数が少ない理由としては、本実証事業に参加した居宅介護支援事業所以外とのやり取りが多かったためと考えられる。

(図3)



#### 実証結果 (実証期間：2018年12月1日～2019年1月31日)

■登録文書件数					登録文書件数 138件
居宅介護支援事業所	ふきのとう	ふたば	であい	合計	
入院時情報提供書	4	20	1	25	
退院・退所情報記録書	4	10	0	14	
居宅サービス計画書	7	29	2	38	
合計	15	59	3	77	

施設	鶴岡市立荘内病院	鶴岡協立病院	合計
退院時サマリー	3	27	30
退院前カンファレンスシート	1	5	6
その他	2	0	2
合計	6	32	38

訪問看護ステーション	ハローナース	きずな	合計
訪問看護サマリー	3	5	8
訪問看護の情報(療養)提供書	3	0	3
合計	6	5	11

診療所	石隈内科青備科医院	中村内科青備科医院	合計
診療情報提供書	1	1	2
訪問看護指示書	6	3	9
その他	0	1	1
合計	7	5	12

(図4)



#### 実証結果 (実証期間：2018年12月1日～2019年1月31日)

■登録文書閲覧リードタイム (最速の閲覧時間から計算)					
居宅介護支援事業所	当日	3日以内	7日以内	それ以上	合計
入院時情報提供書	24	0	1	0	25
退院・退所情報記録書	12	1	1	0	14
居宅サービス計画書	36	1	1	0	38
合計	72	2	2	1	77

病院	当日	3日以内	7日以内	それ以上	合計
退院時サマリー	26	2	0	2	30
退院前カンファレンスシート	5	1	0	0	6
その他	2	0	0	0	2
合計	33	3	0	2	38

訪問看護ステーション	当日	3日以内	7日以内	それ以上	合計
訪問看護サマリー	8	0	0	0	8
訪問看護の情報(療養)提供書	3	0	0	0	3
合計	11	0	0	0	11

診療所	当日	3日以内	7日以内	それ以上	合計
診療情報提供書	2	0	0	0	2
訪問看護指示書	6	3	0	0	9
その他	1	0	0	0	1
合計	9	3	0	0	12

(図5)



#### 実証結果 (実証期間：2018年12月1日～2019年1月31日)

■実証事業介入前後比較												
患者	入退院状況	病院	診療所	システム連携	実証事業介入前後比較	対照期間	共有件数	所見	所見	所見	所見	
A	入院	荘内病院	中村内科青備科医院	ハローナース	ふきのとう	10-11月	9	1	4	4	2	1
						12-1月	9	6	6	4	1	6
B	退院	荘内病院	中村内科青備科医院	ハローナース	ふきのとう	10-11月	3	0	1	0	0	0
						12-1月	8	7	14	5	1	14
C	入院→退院	荘内病院→協立病院	石隈内科青備科医院	ハローナース	ふきのとう	10-11月	7	3	3	4	0	10
						12-1月	8	16	12	5	3	0
D	入院	荘内病院	石隈内科青備科医院	ハローナース	ふきのとう	10-11月	0	2	4	3	1	2
						12-1月	6	6	0	2	1	5
E	入院	荘内病院	土田内科医院	であい	ふきのとう	10-11月	4	0	0	2	0	0
						12-1月	4	3	0	1	0	1
F	退院	荘内病院	石隈内科青備科医院	ハローナース	ふきのとう	10-11月	4	0	3	0	0	5
						12-1月	8	5	22	2	9	0
G	入院	協立病院	協立リハビリテーション病院	ハローナース	ふたば	10-11月	6	2	0	0	0	0
						12-1月	6	3	0	0	0	0

(図6)

# 工一(A) 会員になりました

## —新規開業医紹介—

耳鼻咽喉科たからだクリニック 鈴木 豊

当クリニックは昨年11月に茅原に開院して4月で6ヵ月を迎えました。様々の不手際もございましたが、何とかここまで漕ぎつけましたのも皆様の御支援の賜物と感謝しております。年齢的にも50代半ばでの開業ですので、借入の資金には制限がありましたが、諸先輩方からスタッフの確保が大変であることを聞いておりましたので、最小人数での運営を可能とするため、資金の許す範囲内で可能な限りのIT化をおこなうことを目指しました。

実際、私は勤務医時代から10年以上電子カルテを使用して参りましたので、もはや紙カルテでの診療は考えられませんでした。電子カルテを運用していく上で、医用画像や検査結果を管理するファイリングシステムをどのようなかたちで連動させていくかは重要な問題です。そこで、当院で導入しているファイリングシステムとその動画機能を利用した自作の検査装置への取り組みを紹介したいと思います。

その前にファイリングシステムのメリットをいくつか提示してみます。

①紙カルテの時代にはX線写真、内視鏡、エコーの画像や検査結果をカルテに直接貼り付けたり、別に用意したファイルに保管しており、資料整理の手間や保管場所が必要でしたが、それらがなくなるため業務量も軽減されます。

②電子カルテ自体に画像を入れると、動作速度の低下を招きますので、電子カルテ画面とは別にファイリングのサーバから画像を表示させます。この際に、カルテ画面を開くと自動的に画

像ファイルが開き、カルテ画面を閉じると自動的に閉じる機能が搭載されていることが望ましいと思われます。

③医師が簡単な操作で表示したい画像を表示できることで、過去画像との比較や患者さんへの画像を提示しての説明も容易になります。

当クリニックの場合は、電子カルテ・各検査機器との連携にコストがかかるものは導入が難しかったため、モリタ製コーンビームCT 3D Accuitomo F17の付属ソフトウェアi-Dixelを画像ファイリングとして使用しています。i-Dixelは、CTデータだけでなく、電子内視鏡や赤外線眼振計、エコーからの動画・静止画像、オージオメータ・インピーダンスオージオメータなどの検査データを取り込み管理できます。問題となる点は、オージオメータ・インピーダンスオージオメータは数値データではなく画像データのみで保存されていることに加えて、電子カルテと連動して開閉するものの保存データを電子カルテ内で診療情報提供書等にコピー・ペーストを行うなど自在に活用することができないことです。

このシステムを1～2ヵ月使用していくうちに動画機能を利用して画像解析プログラムが自作できないかと考えるようになりました。動画として取り込む件数が多いものは、赤外線眼振計のデータでした。当院で導入した赤外線カメラゴーグル単体には眼球運動の画像記録装置は付随しておらず、画像ファイリング内に動画(MP4)として保存されます。近年では眼球運

動解析プログラム付きのビデオ式眼振計測装置も販売されていますが、クリニックに導入するにはコスト的に難しいのが現状ですので、現在保存された動画からオフライン解析をおこなう解析プログラムを自作することとしました。原理的には①動画を連続した画像に分解 ②画像の瞳孔と虹彩部の色調差から瞳孔の位置を認識(二値化) ③眼球の動きを追跡(瞳孔の重心の座標を計測)の流れで行います。動作速度には問題があるようですが、医療用画像の分野での資料の多いImageJを使って解析プログラムを作成中です。

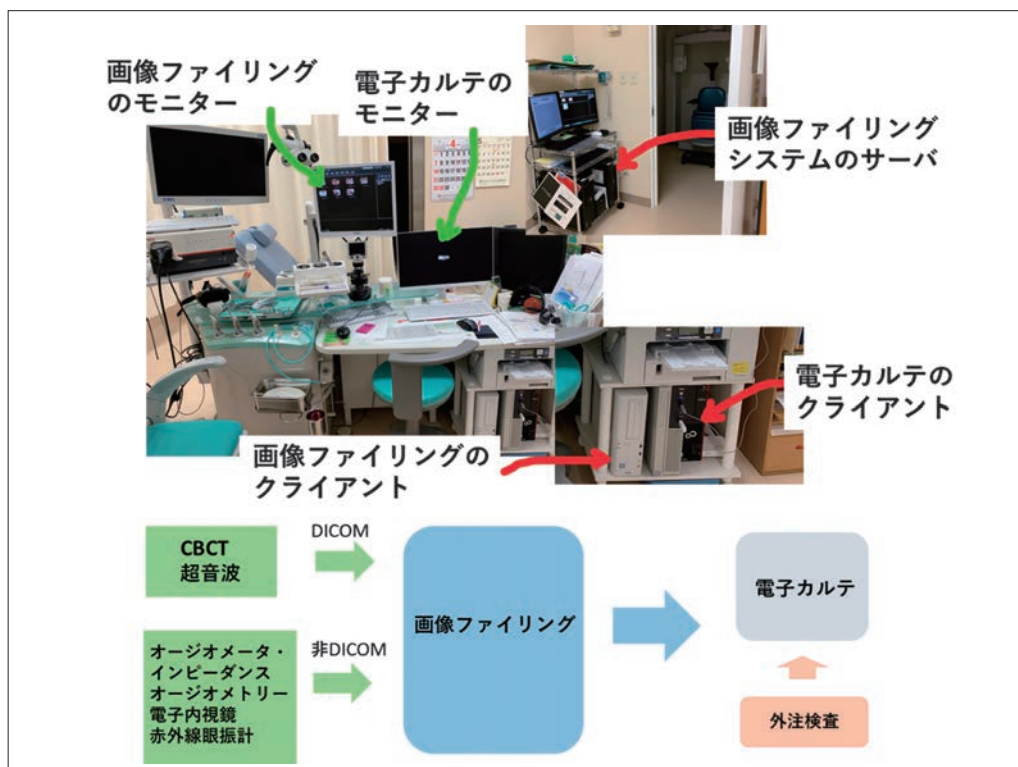
ImageJはNIHで開発されたオープンソースの画像解析ソフトウェアで、一番の利点はフリーソフトであることです。

実際に現在診察室で使用しているPCは電子カルテのクライアント、ファイリングシステムのクライアント、インターネット接続されたものの3台で、セキュリティーの関係で各々は直

接接続されてはいません。動画の情報はファイリングシステムからUSBメモリに一旦書き込んでから、ネットに接続されたPC内の解析プログラムで行うことになります。

さらに当クリニックは透過型のゴーグルを使用しているため、追従用の指標や視刺激パターンをスマートフォンにPCより逆ミラーリングすることで指標装置として使用するシステムも導入予定です。こちらのプログラムは私が大学病院勤務時代から使用していたLabVIEWを使ってコードを書いております。LabVIEWはナショナルインスツルメンツより販売されている計測制御用のプログラム開発環境です。画像解析のアドインも販売されていますが非常に高価なため今回は使用していません。

いずれも参考となる具体的な資料が入手できず、時間がかかっておりますが、5月頃には稼働できる予定です。



診察ユニットの状況です。モニターだらけで、足元にはPCが3台あります。

# マイペット&マイホビー

— 第 104 回 —

## 趣味探し

奥山皮フ科 奥山 泰裕

私の趣味と聞かれると何だろうかと考えてしまう。

十数年ほど前に日本城郭協会が日本百名城を定めて、各城にスタンプを置いた。当時自分が東京で修行中であったこと、また高速道路が限りなく無料に近くなる政策がとられていたこともあり、休みのたびに日本全国あちこち回ってスタンプを集めたものである。百個のスタンプを制覇した後は、御朱印でも集めようかと試したが、信仰心もないのに印を頂くことに違和感を覚え、いつしかそれは自然消滅した。鶴岡に戻り仕事と子供のイベントに追われ、趣味というものを持たずに過ごし今に至っている。

我が家の長男は私と違い、コミュニケーション能力が高いのか、誰とでも話を始めてしまう。もともと飛行機が好きな彼が、サマーキャンプの帰りに一人で乗った飛行機で見知らぬ飛行機好きな紳士と話が盛り上がったのを機に、ますます飛行機好きが高じ飛行機雑誌を何冊も買うようになった。夢はパイロットか空港で働きたいと言っているのを一時的なものと思って眺めていたが、飛行機好きは今も収まっていない。そこで飛行機が好きな長男のためという名目で、最近では東北の空港をあちこち巡っている。

前置きが長くなったが、今回は昨年末に仙台空港に行った時のことについて、思い出し書いてみる。

東日本大震災で洪水に飲み込まれた痛ましい



記憶に残る仙台空港であるが、実際に行ってみると思っていたよりも海が近く、しかし湾になっている訳でもないのにあれほどの惨事に襲われたことを思うと背筋が凍ってしまった。

仙台空港は一日に発着する飛行機が、70機を超えるため、割と間断なく飛行機の離着陸を眺められる。また天気が良ければ展望デッキからは遠くの蔵王連峰から海まで見ることが出来る。我々が訪れた日は天気が良く風が無い上に暖かく、散歩や展望日和だった。

私の偏見ではあるが庄内空港は、どこに行くにしても起点になる空港で目的地が東京以外の場合、羽田からさらに乗り換えが必要となる。が、仙台空港の場合目的地の選択肢があり、また東北新幹線というほかの交通の選択肢がある分、空港の使い方が決定的に違うように思える。まあだから何だというわけでもないが、暴風雨雪になると、ほかの選択肢（電車もバスも）も機能しなくなり、旅行や外出を断念して引き込まざるを得ない陸の孤島たる庄内人とし

てはうらやましい限りである。別に庄内空港が嫌いなわけではない。3階の展望デッキは特別高いフェンスもないので子供も写真を撮りやすそうだし、西側の緑地帯から見る大迫力の離着陸もなかなかのものである。ただ1日に4便なのでそれを見るまでの間に待ちくたびれてしまう。それに比べて一日70便強の発着陸を見れる仙台空港は飛行機好きの時間つぶしには満足できるものだと思う。

仙台空港の3階には展望デッキ『スマイルテラス』がある。イルミネーションが整備されており、夜に来れば綺麗に見えるのだろう。そこからの展望、山々や景色についての説明看板に、栗駒山 ハッピースマイル伝説についての記載がある。それによれば『1年を通し、数日だけ姿を表す幻の栗駒山。その姿を見られたカップルには永遠の愛がもたされるに違いありません。スマイルテラスから、ハッピースマイル伝説が誕生します』とあった。先日鶴岡の加茂水族館が『恋人の聖地』に認定されたが、これもきっと恋人たちの聖地になることを狙ってつくられたものであろう。集客を頑張っているのはどこも同じだなと看板から目を離し山脈を眺めるとその栗駒山が見えるではないか。この歳なので聖地はどうでもよいが、年に数日しか見れない幸運を家族と共有しようと振り返ったが、飛行機の写真を撮っている長男以外は飽きてしまったのか、いなくなってしまう。うちの家族に、他人の設定した永遠の愛のジnkスは必要ないのだと自分なりに都合よく解釈し、曇って寒くなってきた展望デッキから、まだまだ見学する気の長男を引きずって空港内の見物に戻った。

飛行機に興味があるのが長男だけなので、他に子供たちが楽しめるものが何かないものかと

2階に降りるとエアポートミュージアムなるものがあり、仙台空港の歴史と国際線就航についての説明がされている。最近各地の大きめの空港にはこういうものがある気がするが、仙台空港では本格的なコクピットがあり、昇降スロットルを操作することができる。もちろん景色が変わることはないが、飛行機に興味がない子供も楽しそうにガチャガチャと操作していた。横にはパソコンのソフトではあるが、管制官シミュレーターがあり、空港へ侵入する飛行機を誘導する体験ができる。これには次男が食いついたが、説明書がないためルールもゴールもよくわからなかったようだ。

またビジネスクラスシートも並べられておりその広さを堪能できる。さらに最新式のプリクラ（写真シールだけでなく、ネット共有もできるらしい）も置かれており、家族を説得して皆で撮影してみた。プリクラ自体20年ぶりくらいだったが、家族全員で撮るという機会はおそらくこれが最初で最後なんだろうと寂しく思いつながらも、いい思い出を作ることができ顔がほころんでしまった。この時のプリクラは今も割と大事に手帳に保管している。

以上が仙台空港の思い出で、仙台市内の話を書くと収拾がつかなくなるので終わる。

グダグダと書いてみて、最後に思うのだが、なんだかんだと理由をつけて、家族と様々な場所へ出かけるのが私の趣味なんだろう。この先、子供たちは一人ずつ巣立っていくのだろうが、嫌われない程度に誘って、またどこかに行きたい。

長男に提供してもらった写真を添付する。機種詳細は不明。



## 新入会員紹介 ～平成31年4月1日入会～

氏 名：浦 田 雄 三

生年月日：昭和32年4月16日

生まれた所・育った所：熊本県天草市

勤務先・診療科目：(医)三川病院 精神科・心療内科・一般内科

出身校：日本大学医学部

趣味・特技：ドライブ

鶴岡地区医師会会員の皆さんへ一言：北海道から転居してきたため、当地の気候に慣れるまで車の運転に気をつけて体調管理もおこならないようにしていきます。よろしくお願ひいたします。



氏 名：京 田 俊 介

生年月日：平成4年4月21日

生まれた所・育った所：千葉県生まれ、東京育ち

勤務先・診療科目：鶴岡市立荘内病院

出身校：新潟大学

趣味・特技：スポーツ全般（バドミントン）、旅行

鶴岡地区医師会会員の皆さんへ一言：よろしくお願ひします。



氏 名：佐々木 康 介

生年月日：平成6年5月21日

生まれた所・育った所：京都府

勤務先・診療科目：鶴岡市立荘内病院

出身校：京都府立医科大学

趣味・特技：筋トレ

鶴岡地区医師会会員の皆さんへ一言：よろしくお願ひします。



氏 名：石 塚 祐 成

生年月日：平成5年10月27日

生まれた所・育った所：鶴岡市

勤務先・診療科目：鶴岡市立荘内病院

出身校：山形大学

趣味・特技：釣り

鶴岡地区医師会会員の皆さんへ一言：一生懸命、勉学に励みたいと思います。



氏 名：湯 浅 悠 介

生年月日：平成2年5月4日

生まれた所・育った所：富山県高岡市生まれ、新潟県上越市育ち

勤務先・診療科目：鶴岡市立荘内病院

出身校：金沢医科大学

趣味・特技：音楽（ベース）

鶴岡地区医師会会員の皆さんへ一言：鶴岡市の医療のために精一杯勉強させて頂きたいと思ひます。宜しくお願ひいたします。

## 表 紙

## 「里山で見かけた山菜たち」

御橋 慶治

今年は4月に入ってから寒さが戻り、山菜たちの成長が遅かったのですが、平成から令和にかわった長い連休中、里山でだんだん大きくなる山菜の中から一部ですが、スマホで撮ってみました。

①こごみ ②こしあぶら ③たらの芽 ④ぜんまい ⑤あいこ ⑥赤こごみ ⑦うど ⑧わらび  
不安な山菜採取は避け、安全に春の味覚を満喫しましょう。

## 編 集 後 記

寝ている間に元号が平成から令和に変わっていました。5月7日からは通常通りの診療が始まっており、ゴールデンウィークは既に昔の事のように。平成になった頃に研修医になり、その年の医局の忘年会は自粛モードで行った事を覚えております。医師になってから既に30年以上経過しておりました。その間に自分が進歩した気はしませんが、体力、気力、視力が衰えてきて、根気が続かなくなって来た感じがします。連休中はセミナーを聞きに東京に日帰り、高崎に姪っ子の結婚式で日帰り、5月2日は通常の診察を行い、往診は早朝に頻脈発作を起こした方の1回だけでした。その他はいつものようにFAXや電話が来ましたが、遠方に出かける事もなく、映画を2本観たくらいで平和な連休でした。以前の編集後記で書いたムーミンのドールハウス製作は、睡眠時間がさらに無くなるため、しばらく中断しておりました。地下1階、3階建てで、さらに屋根裏部屋まであるものです。連休中に3階の床まで一気に作成しました。本棚、椅子、ベッド、シャンデリア等々も作成しながら随分進みましたが、水あび小屋が追加となり110号まで続く事になりました。なんとか最後まで完成させたいものです。ドールハウス作りなら、食事もせず一日中続けられるのですが、仕事はそうは行かないようです。


来年のオリンピックは、7月24日の開会式前後に4連休(23日～26日)、8月9日の閉会式前後に3連休(8日～10日)となるそうです。大きな災害が多かった平成でしたが、令和が平和な時代になる事を祈っています。

(佐久間 正幸)

編集委員：渡邊秀平・小野俊孝・三科 武・佐久間正幸・木根淵智子・中目哲平

発行所：一般社団法人鶴岡地区医師会 山形県鶴岡市馬場町1-34

TEL 0235-22-0136 FAX 0235-25-0772 E-mail ishikai@tsuruoka-med.jp

ホームページにも掲載しております  URL <http://www.tsuruoka-med.jp>